



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社AVILEN 上場取引所 東  
コード番号 5591 URL <https://avilen.jp/ir/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 光太郎  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 高田 拓明 TEL 03(5823)4694  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	880	35.1	118	7.4	119	18.3	76	7.3
2023年12月期第3四半期	651	—	110	—	100	—	71	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	12.71	12.35
2023年12月期第3四半期	11.94	11.59

- (注) 1. 2023年12月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2023年9月27日付で東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から2023年12月期第3四半期累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 2023年7月20日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	693	496	71.5
2023年12月期	624	415	66.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 495百万円 2023年12月期 414百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,225	31.8	200	16.5	200	23.3	131	14.9	21.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は当第4四半期決算より連結決算に移行する予定であります。連結業績予想については、改めてお知らせする予定であります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	6,053,493株	2023年12月期	6,050,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	一株	2023年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	6,051,712株	2023年12月期3Q	6,000,916株

(注) 当社は、2023年7月20日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
2. 添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(重要な後発事象の注記)」に記載のとおり、当社は当第4四半期決算より連結決算に移行する予定であります。連結業績予想については、改めてお知らせする予定であります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	6
(重要な後発事象の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は「データとアルゴリズムで、人類を豊かにする」をパーパスに掲げ、「企業と人がAIを自在に使いこなし、発展し続ける豊かな未来」の実現に向けて、「AIを搭載したソフトウェアの開発」と「デジタル組織の構築を支援するプログラムの提供」を主軸に、企業のAI活用/DX推進による成長を支援してきました。また、2024年7月より経営・執行体制をアップデートし、既存取引先のLTV最大化、AIソリューションの新パッケージ開発及びM&Aに向けた取り組みにより一層注力し、非連続成長の実現のための施策を進めております。

AIソフトウェアユニットでは、AI・データサイエンスの観点でデータの利活用により業務効率化等の新たな価値を創造するソリューションを提供しています。営業活動の効率化・高度化を実現する生成AIソリューション及び見積書・請求書内容のシステム登録を自動化する生成AIソリューションの展開をはじめ、生成AI関連の開発プロジェクトやChatGPTを組み合わせた自社SaaSプロダクトである「ChatMee」等、生成AIビジネスへの展開を継続して進めております。

ビルドアップユニットでは、AI/DXに関わる組織及び人材の現状評価から必要人材（ビジネス領域及びエンジニア領域）の育成まで、AIの実装を実現するための組織開発に必要なパッケージ化されたサービスを一気通貫で提供しております。また、DX人材育成の実践型育成プログラムの監修・提供による神戸市内の中小企業のDX推進の支援開始、新たに生成AI関連コンテンツをリリースするなどサービス範囲の拡充も進めております。

AI業界を取り巻く事業環境については、生成AIの登場でAIの利活用が急速に実用化へ近づいている状況であり、日本における生成AI需要は2030年には2023年対比15倍に拡大し市場規模は1兆7,774億円になるとする予測（出典：JEITA「注目分野に関する動向調査 2023」）がされております。この環境下において、AIソフトウェアの需要拡大に伴い、特にAI人材の需給ギャップが広がり、真に価値のある生成AI活用のニーズが顕在化する見通しとなっております。

良好な事業環境のもと、組織開発からAIアルゴリズム開発まで完結したソリューションを提供できる当社独自の一気通貫モデルに加え、株式会社大塚商会等の資本業務提携先との連携を深化させながら、AIソフトウェア及びビルドアップ共に顧客基盤の拡充、継続性の高いプロジェクトを着実に積み上げております。また、DS-Hubの活用等により今後の成長に向けて優秀な人材の採用も順調に進んでおります。加えて、生成AI領域に特化したエンジニア集団である株式会社LangCoreの連結子会社化により、早期にシナジーを創出し、両社の短期的な収益向上が期待されるとともに、中長期的な事業拡大が見込まれる状況にあります。

当第3四半期累計期間においては、AIソフトウェアユニット及びビルドアップユニットにおける顧客数・プロジェクト数は堅調に推移し、売上高880,588千円（前年同期比35.1%増）、営業利益118,477千円（前年同期比7.4%増）、経常利益119,229千円（前年同期比18.3%増）、四半期純利益76,908千円（前年同期比7.3%増）となりました。なお、当社はAIソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しておりますが、当社の販売実績を主な内訳に区分した売上高は、AIソフトウェアユニットは563,002千円（前年同期比69.7%増）、ビルドアップユニットは317,586千円（前年同期比0.8%減）となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は601,291千円となり、前事業年度末に比べ68,464千円増加いたしました。これは、主に売掛金及び契約資産が82,603千円増加したことによるものであります。

固定資産は92,233千円となり、前事業年度末に比べ106千円増加いたしました。これは、主に有形固定資産が5,138千円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は693,524千円となり、前事業年度末に比べ68,570千円増加いたしました。

#### (負債)

流動負債は196,572千円となり、前事業年度末に比べ12,676千円減少いたしました。これは、主に未払法人税等が18,986千円減少したことによるものであります。

固定負債は該当ありません。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は196,572千円となり、前事業年度末に比べ12,676千円減少いたしました。

#### (純資産)

純資産は496,952千円となり、前事業年度末に比べ81,247千円増加いたしました。これは、主に四半期純利益76,908千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想について変更はありませんが、今後の事業環境の動向や業績の進捗を注視し、業績予想の見直し

が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。また、「2. 四半期財務諸表及び主な注記（3）四半期財務諸表に関する注記事項（重要な後発事象の注記）」に記載のとおり、当社は当第4四半期決算より連結決算に移行する予定であります。連結業績予想については、改めてお知らせする予定であります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	279,689	244,292
売掛金及び契約資産	221,631	304,234
預け金	2,810	1,252
仕掛品	—	4,826
その他	28,695	46,684
流動資産合計	532,827	601,291
固定資産		
有形固定資産	432	5,570
無形固定資産		
著作権	4,535	4,535
ソフトウェア	23,387	54,089
ソフトウェア仮勘定	35,734	—
無形固定資産合計	63,657	58,624
投資その他の資産	28,037	28,037
固定資産合計	92,126	92,233
資産合計	624,954	693,524
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,457	16,886
未払金	19,286	9,975
未払費用	37,001	37,588
契約負債	76,129	83,253
未払消費税等	22,469	24,899
未払法人税等	27,981	8,995
その他	13,923	14,972
流動負債合計	209,249	196,572
負債合計	209,249	196,572
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	51,760	53,929
資本剰余金	48,760	50,929
利益剰余金	313,790	390,698
株主資本合計	414,310	495,557
新株予約権	1,395	1,395
純資産合計	415,705	496,952
負債純資産合計	624,954	693,524

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	651,906	880,588
売上原価	198,587	267,417
売上総利益	453,318	613,171
販売費及び一般管理費	343,049	494,694
営業利益	110,268	118,477
営業外収益		
受取利息	1	15
為替差益	42	—
債務勘定整理益	—	1,185
その他	663	61
営業外収益合計	708	1,262
営業外費用		
支払利息	—	205
為替差損	—	305
上場関連費用	9,545	—
株式交付費	678	—
営業外費用合計	10,224	510
経常利益	100,752	119,229
特別利益		
新株予約権戻入益	930	—
特別利益合計	930	—
特別損失		
減損損失	—	10,069
特別損失合計	—	10,069
税引前四半期純利益	101,682	109,160
法人税等	30,037	32,251
四半期純利益	71,644	76,908

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	8,658千円	8,582千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

当社は、AIソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## II 当第3四半期累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

当社は、AIソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。



(重要な後発事象の注記)

(取得による企業結合)

当社は、2024年10月11日開催の取締役会決議に基づき、2024年10月29日付で株式会社LangCoreの株式を取得し子会社化いたしました。

#### 1. 企業結合の概要

##### (1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社LangCore

事業内容 生成AI関連システム受託開発、AI活用コンサルティング

##### (2) 企業結合を行った主な理由

生成AI領域に特化したエンジニア集団である株式会社LangCoreは、課題特定からアプリケーション開発まで一気通貫でサービス提供し、創業間もないにもかかわらず、既に数多くの開発実績を有しております。

株式会社LangCoreの子会社化により、早期にシナジーを創出し両社の短期的な収益向上が実現されるとともに、中長期的な事業拡大も見込まれると判断し、株式取得を決議いたしました。

##### (3) 企業結合日

2024年10月29日 (みなし取得日 2024年10月1日)

##### (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とした株式の取得

##### (5) 結合後企業の名称

変更ありません。

##### (6) 取得した議決権比率

100%

##### (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を100%取得したことによるものです。

#### 2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	400,000	千円
-------	----	---------	----

取得原価		400,000	千円
------	--	---------	----

#### 3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 5,000千円

#### 4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

#### 5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額及びその主な内訳

現時点では確定しておりません。